

2月の衛研検査情報

～トピックス～

年末食品一斉収去検査

本市では平成26年11月1日から12月31日までを年末取締り期間と定め、一斉点検を行いました。そのうち、食品専門監視班と福祉保健センターによる収去及び買取により搬入された検体について、当所が行った細菌検査と添加物検査について報告します。

主な結果 細菌検査は、食肉製品・魚肉ねり製品・そうざいなど90検体221項目について実施しました。その結果、規格基準違反はなく、衛生規範不適が3検体ありました。添加物検査は、野菜類・果実加工品、菓子類、かん詰・びん詰食品などを重点に144検体2,075項目について実施しました。その結果、違反疑いとなった2検体について、現在も調査中です。

残留農薬検査（平成26年度 その3）

当所では、横浜市内に流通する農産物等の食品に残留する農薬の検査を行っています。今回は、平成26年8月から12月までに各区福祉保健センター及び南部市場食品衛生検査所より搬入された農産物等の検査結果を報告します。

主な結果 市内産農産物9検体、国内産農産物11検体、輸入農産物5検体について検査を行ったところ、残留農薬の基準値を超えるものはありませんでした。

魚介類中のPCB検査

平成26年11月に中央卸売市場で収去した市内に流通する魚介類9種10検体について、PCBの検査を行いました。

主な結果 全ての検体で、PCBは検出されませんでした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページは、感染症情報や保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報等を提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成26年1月は、インフルエンザについて高い関心がみられ、多くのアクセスがありました。総件数は208,824件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査等の結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。